

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会菊池支部

イチゴ苗の生産安定に向けた取り組み

イチゴ栽培においては、前年の収穫期後半と重なる春期から育苗管理が始まります。その年に定植する苗を約半年間かけて自家育苗し増殖させるため、健全苗の育成及び定植苗数の確保が重要になります。

そのため、JA 菊池イチゴ部会では、毎年7月に部会員全員の育苗ほをまわる現地検討会を開催しています。生産者がお互いのほ場を確認しながら、育苗管理や問題になっている病害虫管理等について意見交換をすることで産地全体の育苗技術の向上を図っています。また、7月22日には農業研究センター野菜研究室に視察に行き、育苗管理や最新の研究成果についてイチゴ担当の研究者から情報収集を行いました。

昨年度は8月以降も猛暑となり気温が下がらなかったため、9月下旬の定植期に花芽が分化せず一番果の収穫に影響を与え問題となりました。そのため、菊池支部技術部会では、8月以降の天候を留意し、生産者毎にSPAD値を計測しながらスムーズに花芽が分化するよう育苗期後半の栽培管理指導を行っていきます。



現地検討会の様子



農業研究センター視察の様子